



第170回直木賞

『ともぐい』 河崎 秋子 著

己は人間のなりをした何ものか一人と獣の理屈なき命の応酬の果てには。明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男。

人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点！！

『八月の御所グラウンド』 方城^{まきめ}自学 著

女子全国高校駅伝-都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。

謎の草野球大会-借金のカタに、早朝の御所Gでたまひで杯に参加する羽目になった大学生。

京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは……

第170回芥川賞

『東京都同情塔』 九段 理江 著

日本人の欺瞞をユーモラスに描いた現代版「バベルの塔」。ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワートーキョー」がたてられることに。

ゆるふわな言葉と実のない正義の関係を豊かなフロウで暴く、生成AI時代の予言の書。

新刊情報

本屋大賞

『成瀬は天下を取りに行く』 宮島 未奈 著

「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！

各界から絶賛の声続々、いまだかつてない青春小説！ 話題沸騰、圧巻のデビュー作。

親子向けの本

こどもの本総選挙1位 『りんごかもしれない』 ヨシタケ シンスケ 著・文

ひとつのりんごをめぐる、次から次へと繰り広げられる、不思議でユニークな世界。

見方を変えれば、りんごひとつで無限に遊べる。発想力で楽しく豊かに過ごす方法がぎゅーっと詰まった絵本です。

こどもの本総選挙2位 『あるかしら書店』 ヨシタケ シンスケ 著・文

その町のはずれの一角に、「あるかしら書店」があります。このお店は「本にまつわる本」の専門店。店のおじさんに「〇〇についての本ってあるかしら？」ってきくと、たいてい「ありますよ！」と言って奥から出してきてくれます。今日もあるかしら書店には、いろんな理由で本を探しにお客さんがやってきます。

こどもの本総選挙9位

『ほねほねザウルス ティラノ・ベビーのぼうけん』 ぐるーぷ・アンモナイト 作・絵

ティラノザウルスの「ベビー」はトリケラトプスの「トップス」、

ステゴザウルスの「ゴンちゃん」とともに、ぼうけんのたびにでかけます。

めざすはボムボム山！！ さあ、ぶじにたどりつけるのでしょうか？

新刊情報

こどもの本総選挙3位 『大ピンチずかん』 鈴木 のりたけ 作 もあります！